

## 令和4年度 藤島地域 地域まちづくり未来事業

1. 豊かな田園文化の継承と水田農業革命の実現 5,806千円
  - ・ 藤島地域人と環境にやさしい農業推進事業
  - ・ 藤島農産物元気事業
  - ・ 藤島地域地産地消推進事業
  - ・ 藤島地域たんぼの生き物調査事業
  - ・ 庄内農業高等学校地域連携事業
  - ・ 藤島地域農の魅力拡大事業
2. 歴史と文化、交流が彩るふじのまちづくりの推進 12,594千円
  - ・ 藤島歴史公園「Hisu花」魅力発信事業
  - ・ 藤島歴史公園「Hisu花」から始まる地域づくり事業
  - ・ 東田川文化記念館利活用事業
  - ・ ふじ管理エキスパート養成支援事業
  - ・ 藤棚の整備事業
  - ・ ふじの里づくり事業
  - ・ 鶴岡伝統芸能祭開催事業
  - ・ 藤島地域里山整備活性化事業
  - ・ ふじのまちかど整備事業業
3. 暮らしやすい“藤島”を実感できる生活基盤の再構築 4,611千円
  - ・ 長沼・八栄島地区地域公共交通導入事業
  - ・ 藤島地域公共交通調査事業
  - ・ 長沼温泉ぽっぽの湯活性化事業



※写真：庄農うどんが「2021輝く県民活躍大賞」受賞

## 日本共産党のはてなリーフから①

なくしてこそ  
平和なアジアに

## 安保条約

### 米軍は日本を守ってくれる?

海兵遠征軍、空母打撃群、遠征打撃群、航空宇宙遠征軍…、日本にいる米軍は海外への“殴り込み部隊、ばかり。「沖縄の海兵隊に日本防衛の任務はない」（米国防長官、82年）。“日本を守る、は神話です。



米軍の新基地建設が強行されている  
沖縄の辺野古・大浦湾

### 日本が侵略戦争の出撃基地に

実際、在日米軍基地は、ベトナムやイラクなどの侵略戦争で米軍の出撃拠点となりました。アメリカが戦争を始めれば、守ってもらうどころか、戦争に否応なく参加させられる——これが日米安保条約です。

### 対等・平等・友好の日米友好条約に

安保条約は、第10条で“一方が通告すれば、1年後に終了、と定めています。国民多数の合意で、条約にもとづき軍事同盟をやめて、平和と友好の日米新時代をひらこうというのが共産党の提案です。

2

## 藤沢周平を読む26

鈴木重雄（八色木）

こんな時刻に若い娘と2人きりで話すことなどはじめてだと思いい、気分が浮き浮きした。少しでも長くおつと話していたい気持ちになった。

「盆踊りサ、おつとも行くか？」  
おつは首を振った。  
「なして？病人でもなさそうだし、行けばええでねえか」

「ンだども、家の人は、おらどこ病人だ、病人だて言うもの、踊りサ行くなんて言ったら、ごしやがえる」

「妙な話だの」  
おつが身体を寄せ

てきて、安蔵さんと言った。若い娘の体臭が、いっばいに安蔵を包んできた。その匂いに、安蔵は思わずむせそうになった。

「安蔵さんは山伏だと仲ええと聞いたども、ほんとうだか？」  
「仲ええなんて……」  
安蔵はどきまぎして言った。

「それほどでもねえよ。婆さんが、おれの嫁探し頼んだもんださげ、心配してくれるだけだ」  
「あの人さ会ったら、安蔵さんがら言ってもらいでござ、あんども」  
「何をだ？」

「あの、おらは狐つきでなどでねえさげ、ご祈祷はかんにんしてくれって、おらが言ったって」  
「ンだども、そりやおらが言うごとでなくて、お前えの人が言う

「ごどたるや……」  
「家の衆は信用できねもの。だだも、ががも」  
おつは手をのばして、そつと安蔵の手をつかんだ。小さくしてめっぼい感触の手だった。おつは、安蔵にもたれかかるほど身体をよせ、甘い声でささやいた。

「安蔵さん、言ってくれね？」  
「よし」

瞬きもせず見つめてくる、黒い眼に射すくめられたようになりながら、安蔵は上の空で答えた。  
「じゃ、今度会ったとき、そう言ってる。心配しなかつたってええ（終わり）」

### ■あとがき

藤沢周平『春秋山伏記』から、私なりに引用して、短くまとめ、紹介しました。

会話はすべて庄内弁で、素朴さと優しさが溢れており、少々艶っぽい、明るい描写が気に入っています。

『春秋山伏記』は、秋田県の劇団わらび座が、1999（平成11）年に舞台化し、全国公演の幕開けが5月、鶴岡市で行われました。



# 子ども医療費無料化と、学校給食費の無償化ひろがる

18歳まで子ども医療費助成が、県内で広がっています。

新たに上山市と南陽市、長井市が、新年度予算に計上し、28自治体となり、県内自治体の8割近くになりました(村山市は昨年度から入院のみ)。

中学3年生までとどまっているのは、山形市と鶴岡市、酒田市、新庄市、山辺町、庄内町、三川町の4市3町のみです。

庄内地域が遅れており、平成大合併で人口が大きくなったことや、合併特例措置廃止による、財政硬直化の影響が指摘されます。

山形県保険医協会が調査した、2020年度の学校健診後の治療調査では、学校健診で要受診となった子どもの約4割が、未受信のまま放置されている実態が指摘されました。特に、高校生の未受信が顕著であったとしています(21年9月27日公表)。

## 3自治体が完全実施

県内で、小中学生の学校給食費の無償化を完全実施しているのが、寒河江市と大江町、鮭川村の3自治体です。半額助成は、西川町と尾花沢市、鮭川村で、新年度に河北町が予算化しました。

東根市や長井市、新庄市、白鷹町、真室川町は1食あたり10円(

25円を助成しています。第3子以降の無償化は、鶴岡市や南陽市、天童市です。

## 第2子以降は、5年度予算で検討

鶴岡市の皆川市長は、学校給食費の無償化について、12月議会で「ふるさと納税による寄付金を財源とする」と述べていました。

3月議会の五十嵐一彦議員(新政クラブ)の総括質問で1日、皆川市長は「ふるさと納税は令和元年度が4・8億円、2年度が10・7億円の実績で、3年

度は15億円を予算計上し、4年度は20億円を目標にしている。

安定して15億円を超える部分について、若者子育て世帯の応援に優先的に充当していく。

学校給食費の第2子以降の無償化は、5年度予算で検討していく」と述べました。

## 庄内町が補聴器補助

庄内町では、高齢者補聴器購入費補助制度を新年度立ち上げます。県内初となります。

身体障害者手帳を所持していない高齢者(町民税所得割非課税)に対し、2万円を上限に補聴器購入費の助成を行います。

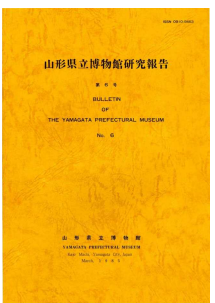
# ひと

## 日下部勇一(庄内町榎島)

### 波瀾(乱)万丈の人生

青山 崇

## ■若勢の「押休み」広がる



若勢の休日は藩政時代、藩法によって厳格に規制しているが、若勢たちは臨時の休みを要求し、これが容認されなければ、実力を行使して農作業を休んだ。これを押休み(押正月)という。

『若勢の押休みについて再論』(山形県立博物館研究報告 第6号

謀者は「片鬢(びん)頭の左右の髪」・片肩(まの)劉落候上、過料銭5百文」とある。

1850年(嘉永3)法連寺村(旧八幡町)の若勢10人が押休みしたこと、規定通り首謀者に「片鬢頭の左右髪・片肩劉落候上…」が規定通り科せられた。通常は村内で内済するのだが異常なことだった。

幕末になると、庄内全域で起こるようになった。

1804年(文化元)跡村(旧余目町)、1822年(文政5)荒瀬郷



## 年金裁判が地裁で

物価は上がる。殊に灯油・ガソリンは毎日の暮らしに係わる。春には色んな物の値上げが予想されている。それでいて年金が下がるのが今の状況だが。

▲お年寄りの生活を支える年金を下げる事は、福祉の向上を定めた憲法25条に違反し、年金で生活をしなければならぬ者の財産を削ることになるから憲法19条に違反すると、全日本年金者組合が全国各地で起こした年金裁判。22日山形地裁は原告の請求を棄却した。

▲健康で文化的な最低限度の生活と言っても色々あって・国には財政事情もあって・立法府には広範な裁量権があつてだと。年金だけが福祉でも無いってことも。訴えた側の暮らしより、国の方を良く見たと思える判決でし

古川組 1843年天保14下黒川組 1849年嘉永2(肝煎村)旧立川村、1853年嘉永6(土口村(三川町)・赤刺村(旧八幡町)などで頻発する。

大友氏は續いで、「若勢の押休みが、山形県でも庄内地方だけにみられ、内陸地方にみられないのは何故であろうか。」と問うている。

なお、この間1840年(天保11)に、藩主の長岡藩転封事件が起こり、反対する庄内一円の百姓一揆が起こっている。

よ。憲法に照らしての内容が分からないが、俺には国に忖度(そんたく)したと見えるんだ。

▲今の年金制度は、マクロスライドとか称して毎年下がる仕組みなんだ。国には財政事情があつても、国民が生活できる制度にする責任があるんですよ。だから、生活保護制度もあるんだから。どこまでも下げるんじゃないかと、せめて「こまめで」という最低を決めることだって判決は出せるんだがナ〜と。

▲年金を下げられて困っている人を代表して起こしている裁判なんだから、年金者組合だけの裁判では無いんだ。原告は、仙台高裁に上告すると言ったと山新に出ていた。年金者組合員が裁判費用をワンコイン・500円を毎年出して闘っているもの。暮らしを守る為共に頑張ろうじゃないですか。(石川)